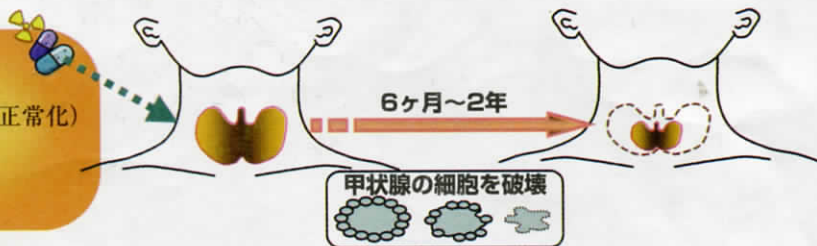


治療の効果

治療の目標

- ① 甲状腺機能亢進症の改善(正常化)
- ② 抗甲状腺薬の中止
- ③ 甲状腺の腫れの縮小



アイソトープ治療は、ゆっくりと効いてきます。効果が十分に得られるまで、しばらくは、抗甲状腺薬かヨード薬を服用して甲状腺機能を正常にするように努めます。甲状腺の腫れが小さくなるのが効きの目安となります。

甲状腺の腫れが大きい方や病気の経過の長い方などは、1回の治療では十分な効果が得られず、期間をあけて再度治療することがあります。繰り返してできることが、アイソトープ治療の利点でもあります。治療効果が十分得られた後の再燃(再発)はまずありません。

治療後の甲状腺機能低下症

同じ様に治療をしても甲状腺の細胞が減りすぎて、甲状腺ホルモンの分泌量が不足することがあります。これはアイソトープ治療後の甲状腺機能低下症です。橋本病になったわけではありません。

甲状腺機能低下は甲状腺機能亢進の状態より心身への負担が少なく、正常維持が容易なため、通院間隔が広がり、身体的・時間的・経済的な負担や影響がずっと少なくなります。このようなことから、治療後の甲状腺機能低下症は副作用(欠点)では無く、治療効果(利点)と捉えることができます。

頻度

甲状腺機能低下症の症状には、寒がり 皮膚の乾燥 便秘 からだのむくみ感などがあります。治療後数ヶ月の間に起こる機能低下症は、多くは自然に治ります。それ以降に起こる甲状腺機能低下症は永続的なケースが多いです。当院の初回治療成績では、治療後5年目までに約30~40%の方が機能低下症になっています。この中には、副作用で薬が使えないなどの理由から、あえて甲状腺機能低下症を目指して治療された方も含まれます。

治療法

不足した甲状腺ホルモンを補うために、甲状腺ホルモン薬の「チラーヂンS」を服用して甲状腺ホルモン濃度を正常にします。この薬の中味は甲状腺が作るホルモンそのものですので、副作用はまずありません。必要量は血液の中の甲状腺ホルモンの濃度を測定して決めますが、いったん量が決まればその後は年1~2回程度の受診ですみます。

チラーヂンS治療の特徴

1. 副作用が無い
2. 1日1回の服用
3. 妊娠 出産 授乳が可能
4. 一時的な飲み忘れも大丈夫
5. 6ヶ月分の処方が可能

ちなみに、アメリカは最初から甲状腺機能低下症を目指した治療をしています。

体への将来の影響は？

- 癌や白血病は誘発しません。
- 脱毛は引き起こしません。
- 不妊症や異常児出生の原因にはなりません。

妊娠や授乳に関すること

- 妊娠のご計画のある方は、あらかじめ医師とよく相談してください。
- 治療後1年位は甲状腺機能が変動しやすいため、妊娠は避けた方が無難です。
- 男性の方は、3ヶ月の避妊が必要です。
- 授乳中の方は断乳してください。

よくある質問

1. 実際に何人の方が治療していますか？
当院では20才～80才台で年間1000人以上の方が治療を受けております。
2. ヨード制限を開始してからの日常生活の注意は？
程度差はありますが甲状腺機能が亢進してきますので、家事や仕事は疲れない程度にしてください。スポーツは禁止してください。
3. アイソトープ治療にかかる費用は？
治療に使う量によりかなり違いますが、外来治療の方は3割負担で10000～20000円です（治療以外の検査代や薬代は含みません）。入院治療の方は、1週間の入院で約10万円の負担となります。
4. 検査・治療のカプセルは処方して持ち帰ることはできないのですか？
放射性物質のため、管理室から外へ持ち出すことはできません。
5. 治療カプセル服用当日、電車やタクシーに乗っても大丈夫か？
数時間のことであれば、大丈夫です。
6. ペットへの影響は？
基本的には人間と同じです。自分の口に含んだものを食べさせる行為はやめたほうがよいでしょう。

おわりに

治療法や経過には若干差もありますので、すべての方がこの通りにいくわけではありません。ご不明な点がございましたら、医師におたずねください。また、医療相談室もお気軽にご利用ください。